



2025年度すくわくプログラム実績報告

① テーマを決める

4歳児までの姿と新年度の子もたちの様子から職員で話し合い、5歳児の一年間のテーマを年間目標として以下のように願いをこめたてました。

『目標に向かい、友だちや大人と協力してやり遂げることができる』
『日々の生活や体験を通して、「自分ってすてきな」という自信を持つ』

② 問いを考える

クラスの中の同じ年齢の仲間は、りんごの木のおうちは5名、ぶどうの木のおうちは4名、みかんの木のおうちは5名、計14名の年長児。5歳児になりてたての子もたちは、どの子も一人ひとりとても素敵なお友だちがいるのだけれど、ちょっと恥ずかしがりやな一面もあります。見守る大人たちはもう一歩自信をもって何事にも挑戦して欲しい！自信を胸に大きく羽ばたいて欲しいと願っていました。

「クラスをこえてつながる仲間になるには？」

「友だちと一緒に挑戦し、「自分ってすてき」と自信をもつには？」

大人たちの悩みとともに、子どもたちはどうしたいのか？子どもたちの意見を聞き⇒実行し⇒一緒に考える。この繰り返しを大切に、小さな成功体験を積み上げていこうと5歳児の集団活動「どんどん活動」を進めることにしました。

③ 環境をデザインする

- 全クラスの5歳児がお互いに分かるように「どんどん写真」を作り各クラスに掲示する。
- 4月、まだまだ話し合いが難しい子どもたちの姿から、急に14名の集団での話し合いではなく、各クラスの安心して話せる中で話し合いの経験を積んでいく。
- お泊り保育に向けた全員の話し合いの前に3クラス合同で繰り返し散歩やあそびのどんどん活動を行う。
- 話し合いの時には見える化して、自分の意見とみんなの意見があることがわかり、決まったことが分かるようにする。全員での話し合いが始まる時には階段横の掲示板に「どんどん活動」の内容が分かるように掲示する。
- 保護者にも掲示板を子どもと一緒に見て、会話を楽しんでいただく。掲示板、懇談会や保育システムを通じたおたより等で活動を知っていただく。

2025年度6月どんどん懇談会資料

1. どんどんさん年間予定について

保育の年間目標とともに、子どもたちの姿や子どもたちの希望に合わせて行う年間の大まかな予定です。2025年度しおりにてお伝えしている活動と、普段の生活や遊びの中で取り組む活動についてお伝えします。それぞれの活動に向けた準備、話し合いだけでなく、子どもの思いから生まれる活動も予想されます。必要事項は出来るだけ事前にお知らせいたしますが、子どもと共に作り上げていきたいと思っております。是非、ご理解とご協力をお願いいたします。

年間目標	★『目標に向かい、友だちや大人と協力してやり遂げることができる』 ★『日々の生活や体験を通して、「自分ってすてきな」という自信を持つ』
4月～	後半になると、3クラスのどんどんさんと散歩も主活動の中に取入れていきます。
5月～	「こくまのまなびば」や「こくま食堂」に参加し、地域の方との交流を定期的に行ないます。 下旬からは、飛馬通りの散り始めをスタートします。
6月～7月	各おうちで計画的にどんどんさんの話し合いを持ちます。 下旬頃から7月にかけては、話し合い・わらべうた・好きな遊びなどを通して、どんどんさん周りの関わりを大切にしながらつなげていきます。 また、クラスで入るプールとは別に「どんどんプール」という3クラスのどんどんさんで入る特別なプールも行っていきます。
8月～9月	引き続き、「どんどんプール」を行なっていきます。 また、どんどん活動が本格的に実施となっていきます。お泊り保育について具体的に話し合いを重ねていくことで、どんなことをするのか（夕飯メニュー・お楽しみなど）を決めていきます。 どんどん活動については、日中の主活動・14時～15時のお昼寝起き・夕方などの時間帯で実施していく予定です。子どもたちの様子を見ながら、無理なく行っていきます。
10月～	4日(金)～5日(土)はお泊り保育となります。保育園に一泊して、友だちや大人と協力して支え合ってやり遂げる体験をします。 他施設との交流や小学校との交流も行っていきます。
1月～2月	これまでの経験を活かし、節分やクッキングの集大成「石狩鍋クッキング」を通して、目標に向かって自信を増やしていきます。
3月～	13日(金)「卒業式」や25日(水)「卒園満足」などの行事を、子どもたちと話し合いや確認しながら内容を決めて取り組んでいきます。

- ④ 探究活動を実践し、記録する
- ⑤ 振り返る・共有する

4月

「卒園式に何やる？荒馬やる？」

各クラスでの話し合いを実施。5月の5歳担当者会議で各クラスの子どもたちの意見を共有。2024年度末の卒園児の勇姿を思い出し「やりたい！」と言う子、静かに首をふる子、「べつに、やってもいいけど」と言う子と反応は様々。

園長に指導を仰ぎ、挑戦していくことに。

4月30日

「仲間を知ろう！」

初めて年長児みんなでホールに集まったの「どんどん活動」

円になって座り自己紹介。名前、クラス、自分のマークを一人ずつ発表。大人は恥ずかしくて言えない子や泣く子を想像していたが、ちょっと小さな声になる程度で全員無事に伝えられる。クラスでの練習の成果が垣間見えた。また、名前やマークの共通点に気づいて反応する姿があり子ども同士盛り上がる場面も。欠席の子がいたので同じクラスの子が教えてくれることを期待して「ほかにはお友だちはいるかな？」と問いかけるとクラスの大人の名前をあげる子がいて、大人も友だち＝仲間と思っていることに驚いた。

その後は鬼ごっこやドッジボールを行う。やりたくないという子は近くで絵本を読むなどして過ごす。鬼になりたいくてあたりにいく姿や、思い通りにならず泣く子、自分のクラスの子しか関わらない子がいて、今後の変化に期待が高まった。

5月9日

「どんどん散歩に行ってみよう！」

年長児だけの初めての散歩。3クラス合同で実施。クラス以外のともだちと手をつないで出発。どんどん写真と自己紹介のおかげで「知ってるよね」と会話が弾むペアがいたり、改めて自己紹介をするペアがいたり。帰りも違うペアになろうと、積極的に相手を探していた。大人と手をつなぐことで安心する姿の子もいた。公園では気がつくと入り混じってあそんでいたが、大人を介して言いたいことを伝えようとする姿もあり、5歳担当者会議の振り返りの際に、もうしばらくの間はもっとおたがいを知ることが出来るようにとの思いから、継続的に2クラスずつの交流を計画していくことにした。



5月21日

「荒馬を楽しもう！」

「やってみたい」「やってもいいけど」の声から実現した1回目の体験日。体験してみることをメインに園長指導の下荒馬踊りに挑戦。基本の動きを覚えた後は、「疲れた～」と言いながら太鼓の音が終わるまで踊りをやめない子どもたち。できる喜びに包まれていた。太鼓の音が嫌だと輪から離れている子もいたが、みんなの様子をじっと見つめていた。

5月30日、6月3日にも練習。「足はこっち？」と動きの確認を自らする姿も。子どもたちに荒馬の頑張りたいところを聞くとそれぞれに「全部！」「ギャロップ」「掛け声」と考えて答えてくれた。

5歳担当者会議で子どもたちの姿から毎月1週目と3週目に練習の機会を30分設けることに。

11月4日
「荒馬再開」

お泊り保育で練習が途切れていた荒馬を再開。なんとなくこなす子もいれば、周りを見て「あ、こうだった」と思い出す子も。隊形移動は難しく何度か練習したが、「もっとやりたい」と意欲的に取り組む姿が印象的だった。

子どもたちの様子を受け、位置を覚える。太鼓の音、掛け声や合図と合わせ、タイミングを理解することを新たにねらいとした。

こころ合わせて荒馬踊りを披露するためにも子どもたちへ本物に触れる機会をと5歳担当者会議の中で「演奏会」の準備をした。

11月後半
「近隣との交流」

近隣保育園の活動に参加させてもらったり、近隣の保育園の年長児と交流したり、小学校の学芸会を見学させてもらったり、新たな経験を積んだ子どもたち。一人であそぶことを好んでいた子が積極的に仲間を誘って集団で過ごすようになり、絵も大きくダイナミックに描くように。心の変化に驚かされた。また、子どもたち自身からの発信も増え、午睡の時間の過ごし方を提案した子も。自分たちの生活を自分たちで考える。主体性があちこちで発揮されている。その姿に感心する大人たち。

12月4日

「本物にふれる体験を ～演奏会～」

保護者の皆様に御協力いただき、本物の演奏を聴くことに。初めて聞くヴァイオリンの音色に、子どもたちは一瞬で引き込まれていた。演奏会の後には年長児だけ特別に楽器に触れる時間も。自分で音を出してみても「はじめてだった」「すごい音がした」「音楽、楽しかった」と感想も次々飛び出していた。本物の音楽に触れ、リズムとメロディーとこころを合わせて奏でる楽しさ凄さを体験した一日となった。

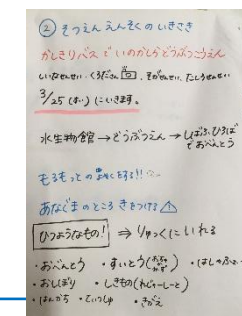
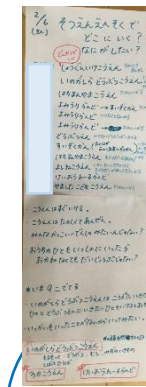


※演奏会の様子は園のInstagramをご覧ください。

1月

「荒馬を披露しよう！！」

ここまで繰り返し練習してきた荒馬。いつも踊っていたのは園舎2階のホール。卒園式に園庭でやるには隊形も変えなくては。変化に対応するのが苦手な子もいる。空間が変わると分かっていることも影響が出る子がいる。そこで、ここまで荒馬を指導してくれた園長先生に、ここまでの成果を披露し一度区切りをつけることに。その次に園庭で動いてあらたな隊形を覚えていこうと決め、まずは園長に見てもらうため、練習に励んだ子どもたち。



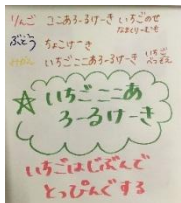
2月

「卒園式までがんばろう！！」

園長に無事に荒馬を披露した子どもたち。卒園式と卒園遠足に向けての話し合いも始まり気持ちはすっかり次に向いている様子。新しい構成での練習が始まると踊りながら「次はこうだよ」「この時はここに気をつけるんだよね」と声を掛け合う姿も。ところが踊らないと意を決している子が一人。しかしその場においてみんなのことを見ているその子の意志を尊重する仲間と大人たち。荒馬の衣装のしっぽや顔作りも張り切って取り組んでいるし、実は遊びの中で踊る時にはとても上手に踊ることを知っているから。

もう一人は自信がなく踊らずに見ていた子。クラスの担任が「秘密の特訓しよう」と大人と一对一の時間を作って練習。「今日は皆と踊る？」「まだ特訓中だから」と言っていたこの子は、自分でもう大丈夫と感じた日の次の練習からみんなの輪に混じっていました。

卒園式に14人全員で踊ってもらいたいと考えてしまう大人たち。その思いを心に秘めつつ、個々が輝くように、練習を重ねる一か月だった。

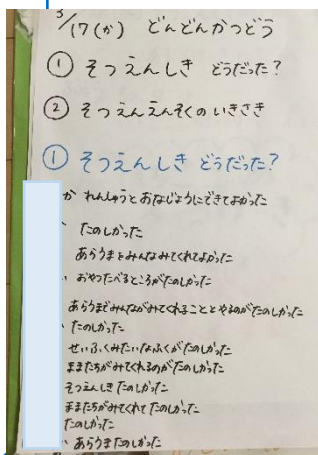


3月13日
「そつえんしき」

年長児も、年中児も卒園式にむけて話し合いと準備を入念に行ってきた。ケーキを決め、卒園製作を決め、同時に荒馬の練習も重ねてきた。

一人ずつ卒園証書をもらい、保護者からあたたかいメッセージを頂き滞りなく終えた卒園式。みんなでケーキを囲んで乾杯した後はいよいよ荒馬を披露。本番はどうか？最後まで大人は緊張していたが、子どもたちは純粋に楽しかったようだ。

踊らないと決めていたあの子も本番は予定通り掛け声のみであったが、荒馬の本番前後に自由走りを複数回加えたことで、自然と踊りに加わっていた。自分なりに出来ることを考えて自信をもって行動する力を見せてくれたことに感動した。14人で作り上げた荒馬踊りは本当に素敵だった。



3月25日
保育園最後のお楽しみ。集大成の一日。

卒園遠足とどんどんおたより

2026.3.27(金)

天気予報とにらめっこの数日を過ごし、「なんとかお天気もちますように」と願いながらどんどんさんは卒業遠足に出発しました。行先は井の頭自然文化園。「動物が見たい」「高い公園で遊びたい。そんなみんなの希望が叶うのがここのなので？と遊びました。行き帰りは貸し切りバスに乗って、体力の体力を心配することなく思う存分遊びました。



忙しい中、お弁当など準備ありがとうございました。どんどんさん14人みんなで行った遠足が最高の思い出になっていただうれしです。

図書館
ゆっくりできてよかったわ

モルモットの目の色は？

3月

様々な活動を共に過ごしてきた14人の年長児。気がつくと朝の時間も夕方の時間もお互いのクラスを行き来して一緒に過ごす姿が増えていた。いつも一方的にルールを決めていた子ども相手の様子をよく見て、話を聞いて、一緒に考えるように。4月にたてたねらいを見事に達成している子どもたち。ケンカをして泣いたり、上手くできず悔しかったり、成長の過程にある子どもたちなので課題を探せばきりがない色々起きるけれど、毎日一緒にいる友だちと作り出す生活と遊び。そんな心地よい関わりの中で自信をさらに磨いている姿に大人たちも感無量。素敵な一年となった。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん